

ケアマネ通信おびひろ

第51号

帯広市介護支援専門員連絡協議会

発行 平成28年3月31日

発行責任者 佐藤 勇宏

《目次》

1. 平成28年度帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会のご案内
2. HUG（避難所運営ゲーム）
3. 平成27年度 第3回学習会 「障害サービスの利用と実際」
4. 癒しのオフタイム（居宅介護支援事業所ふるさと 阿部 秀和さん）
5. ケアマネの輪（地域包括支援センター帯広けいせい苑 西田 文美子さん）

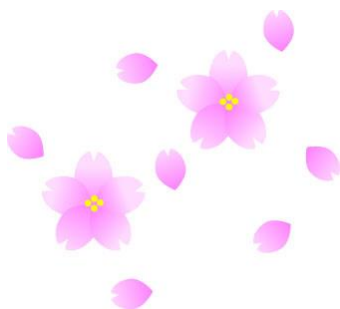
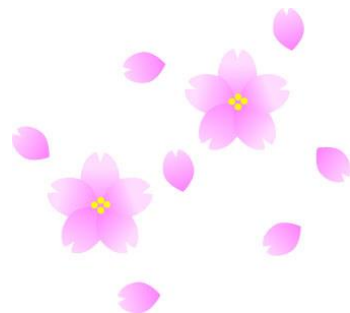
平成28年度 帯広市介護支援専門員連絡協議会【定期総会】

平成28年度の帯広市介護支援専門員連絡協議会の定期総会を以下の日程で開催いたします。後日、総会の案内、出欠確認、委任状をお送りいたします。たくさんのご参加お待ちしております。

日程：平成28年5月18日（水）

時間：19:00～20:00

場所：グリーンプラザ



避難所運営ゲームに心臓ドキドキ！！

HUG(避難所運営ゲーム)に参加して

株式会社ディステリア京屋 福祉事業部 橋本 則幸

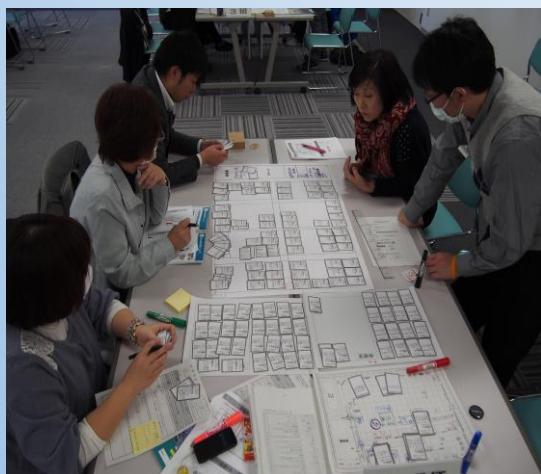
平成 28 年 2 月 27 日（土）HUG（避難所運営ゲーム）へ参加させて頂きました。

以前、別の機会でHUGを体験された方々から、このゲームに関して「けっこう楽しいよ」「色んな考え方が知れるよ」と聞いており、大変楽しみにしていました。

最初に、帯広市総務部総務課防災係の職員さんの説明で、帯広市周辺における過去の主な地震災害の状況や活断層の話、阪神淡路大震災や東日本大震災の写真や動画による解説等がありました。実際の写真や話を聞いていて、改めて地震の恐ろしさを痛感しました。



その後、HUGを始めるにあたり、設定の確認やゲームの進め方等の説明があり、実際にHUGを開始しました。今回は参加者が4つのグループに分かれ、1グループ6名程度の構成となっていました。グループの中では指示役と記録係・カードを読む係を決め、HUGを開始していきま



し、グループ内で相談している時間も少なく、避難所に来る方々をどう案内していくかで、限られた避難所のスペースがどんどん狭くなり・・・と、ゲームの事を振り返るだけで、いまだに焦る気持ちで心臓がドキドキしてしまいます。でも、避難所運営ゲームを今回経験できた事は、今後の私の財産になると感じました。私が一緒にゲームをしたグループのメンバーそれぞれの考え方が、このゲームを通じてたくさん分かり「ああ、こういう考え方もあるんだ」と大変勉強になりました。

4月には北海道版のHUGが帯広市に届くと聞きました。北海道版のHUGも是非体験したいと思いました。今回は、貴重な学習の時間を与えて頂き、本当にありがとうございました。

【障害福祉サービス利用と実際】

相談支援事業所との連携の必要性実感!!

地域包括支援センター帯広至心寮
地域コーディネーター 大江 教史

近年、障害福祉サービスを受ける方の高齢化や、地域移行が進められていること等により、私たち介護支援専門員が障害のある方と関わる機会も増え、居宅介護支援事業所と相談支援事業所の併設、役割を兼務する介護支援専門員も増えてきているように思えます。地域包括支援センターの業務でも精神・知的・身体障害のある方との関わりは多く、相談支援事業所との連携の重要性を日々感じています。

今回の学習会では、相談支援事業所帯広はちす園で相談支援専門員をされている石田氏から障害福祉サービスの概要、サービス利用の事例、等の説明していただき、最後にケースを基に障害福祉サービスを組み立ててみるというグループワークもさせていただきました。サービスの組み立てに関してはスムーズに話し合いがなされましたが、精神・知的の障害がある方に対してそのプランをどのように魅力あるプランとして提示していけるのかという課題も想像でき、そういった専門性に関しても今後、学んでいけたらと感じました。



地域包括支援センター帯広けいせい苑
西田 文美子

皆さま、はじめました、西田文美子と申します。平成27年9月より地域包括支援センター帯広けいせい苑で勤務しております。

平成26年3月にケアマネの資格をとり現在、ケアマネ2年生です。それまでは介護の世界を知らなかったもので、先輩のケアマネさんに1から教えていただいて、何とか2年生に進級しました。記憶力の低下と戦いながらメモを取り、担当者会議のたびに緊張しなくなりながらも続けてこれたのは、先輩方のフォローと優しいサービス事業所の方々、そして優しい利用者さんにご家族のおかげだと感謝しております。支援のお手伝いをさせていただいているはずが、利用者さんと雑談で盛り上がり癒されたり、知らないことを教えていただいたり、こちらがお世話になっているようで、ご恩返しできるように頑張らねばと思う毎日です。

多くの方と関わる機会をいただき、勉強させていただいております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

癒しのオフタイム



やっぱり家が一番！

居宅介護支援事業所ふるさと
介護支援専門員 阿部秀和

「居宅ふるさと」の阿部と申します、よろしくお願ひします。ケアマネージャーの業務について約一年が過ぎ、新規のご相談をコンスタントに頂き感謝の毎日です。以前は認知対応型デイにいましたが、ケアマネの業務はわからない事だらけでとにかく躓きながら、今までお付き合いさせて頂いたケアマネの先輩方を参考に見様見真似と思いつき(これが大事)でやってまいりました。家族さんには「そんなことも知らないの?」とか「段取り悪いわね〜。」と言われつつ、毎日、勉強させて頂いています。

思い起こせば介護の世界に入ったのは10年ほど前。それまでは知っている方もいらつしゃると思いますが「飲み屋のマスター」でした。今では自分がそんなことをしていたなんて思いもよらない生活で、いつ利用者さんから電話がかかってくるかと思うとお酒の量は激減、年に数回、ジョッキ一杯程度で満足するようになりました。

一番の趣味は今でもやっているバスケットボールです。以前は会社名を借りて「チームふるさと」を作っていましたが解散し違うチームで活動中ですが、下手&背が小さいのに走ることが大好きで今でもボールを追いかけて週1~2回は汗を流しています。「うお〜と叫び!走る!」これが一番気持ちいいですね(笑)



飲み屋を辞めるきっかけもバスケでした。バスケ

を通じて知り合った方から声をかけて頂き、少年団のコーチを数年させて頂き、飲み屋という風俗的なものに嫌気がさしていた時期でもあったので「人のため?感謝の心?」等思ったからでした。

他にバイクやらゲームやら好きな物はありますが、一番落ち着くのはやっぱり家です。家に帰り、家族と過ごす。これが一番の幸せです。そのため利用者さんの「家に帰りた〜。」という気持ちは一番わかっているつもりです(笑)

【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「**入退会・変更届出書**」の書式を活用して速やかに届け出てください。

★会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。**メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。**

★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、[ホームページ](#)から入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。

(事務局 帯広市社会福祉協議会 金井)

～編集後記～

雪も解けて春らしい季節になってきました。

現在、我が家を悩ませていることがあります。それは鳩です。昨年の秋頃から居座るようになり、そのうちいなくだろうと思っていましたが、とうとう冬を越してしまいました。

ただいだけならいいのですが、敷地内がふんだらけになるので、屋根などの掃除が大変です。

鳩は一度居場所を見つけるとなかなか動かないと聞いているので、どなたかよい対策法をご存知の方は教えてください。(結構深刻な問題になりつつあります)

今年度もあっという間に過ぎてしまいました。来年度もみなさんには何かとご協力頂くことがあると思いますが、よろしくお願いします。

編集長 TS